

令和元年度第62回福島県中学校体育大会 陸上競技大会要項

- 1 主催 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 福島市教育委員会
福島県中学校長会 公益財団法人福島県体育協会
一般財団法人福島陸上競技協会
- 2 後援 福島市
- 3 主管 県北地区中学校体育連盟
- 4 期日 令和元年7月3日(水)～5日(金)
3日(水) 監督会 11:00～ とうほう・みんなのスタジアム
開始式 13:00～ あづま総合体育館
4日(木) 競技 9:00～
5日(金) 競技 9:00～
閉会式 15:00～ とうほう・みんなのスタジアム
- 5 会場 とうほう・みんなのスタジアム(福島市佐原神事場1)
- 6 参加資格 (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学し校長が参加を認めた者とする。
(2) 各支部予選会を通過した個人、およびリレーチームとする。
- 7 引率・監督 (1) 参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書(校長承諾書)」に必要事項を記入し、参加申込と同時に提出する。なお、部活動指導員は当該校以外の引率及び依頼監督にはなれない。
(2) 本大会に出場するチーム・選手の引率、監督、部活動指導員は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
- 8 参加制限 (1) 1校1種目1名(チーム)、1人1種目(リレーを除く)とする。
(2) 学年別種目は、当該学年に限る。共通種目には、全ての学年が出場できる。
(3) リレーは学校単独チームとする。リレー2種目を兼ねることはできない。
(4) 各地区基本枠5(名・チーム)とし、加盟生徒数の多い2地区にそれぞれ1プラスする。ただし、相双地区からの出場枠は3とし、残りの2枠は地区大会を開催している2地区にそれぞれ1プラスする。(地区最大枠6、各種目32名・32チーム)各支部の出場枠は、各地区で協議し決定する。
(5) 複数支部合同での代表参加については、加盟校の賛同のもとに合同の予選会を開催された場合に認める。地区大会を開催し、予選会とする場合においても同様とする。
- 9 競技規則 (1) 本大会は、2019年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会要項および別紙「競技注意事項」による。
- 10 競技方法 (1) 競技種目

① 男子の部(17種目)

種別	種目				
1年	100m	1500m			
2年	100m				
3年	100m				
1・2年	4×100mR(1・2年各2名でオーダーは自由)				
2・3年	1500m				
共通	200m	400m	800m	3000m	110mH
	4×100mR	走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
	四種競技(110mH・砲丸投・走高跳・400m)				

② 女子の部 (14種目)

種別	種目
1年	100m 1500m
2年	100m
3年	100m
1・2年	4×100mR (1・2年各2名でオーダーは自由)
2・3年	1500m
共通	200m 800m 100mH 4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投 四種競技 (100mH・走高跳・砲丸投・200m)

○男子110mH 高さ 91.4cm スタート～第1ハードル・・・13.72m
インターバル 9.14m 個数10台

○女子100mH 高さ 76.2cm スタート～第1ハードル・・・13.00m
インターバル 8.00m 個数10台

○砲丸の重さ 男子 5.000kg 女子2.721kg
ただし、共通男子四種競技は4.000kgを使用する。

- (2) トラック競技は、予選4組各組3着+4、準決勝2組各組3着+2、決勝8名で行う。ただし、リレーは予選4組各組1着+4、決勝8チームで行う。1500m以上は、予選2組各組6着+3、決勝15名で行う。
- (3) 800mは、スタートから第2曲走路の出口までをセパレートとし、その地点からオープンとする。
- (4) 四種競技は、2日間で行う。
- (5) 学校対抗形式をとり、得点計算は各種目1位8点、2位7点～8位1点とする。ただし、1位の学校が複数出た場合は上位入賞者の多い方を優勝とする。また、2位以下については、同順位とする。

11 ナンバーカード 地区ごとに男女合わせての通し番号とし、番号は黒色とする。

地区	番号	地区	番号
県北	1～999	県中	2001～2999
県南	3001～3999	会津	4001～4999
いわき	5001～5999	相双	1001～1999

- 12 用器具
- (1) 用器具 (スターティングブロック、砲丸、バトン等) は主催者の準備したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは個人で準備する。
 - (2) スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳については12mm以下とする。

- 13 表彰
- (1) 各種目の1位～3位には賞状とメダルを、4位～8位には賞状を授与する。
 - (2) リレー種目の1位～3位のチームには、個人賞状も授与する。(4位以下のチームは学校用1枚とする。)
 - (3) リレー種目の優勝チームには、優勝カップ (持ち回り) を授与する。
 - (4) 学校対抗については、男女とも優勝校に優勝旗 (持ち回り) を授与する。また、男女総合、男子総合、女子総合の各6位までに賞状を授与する。

14 参加料 1名 1,500円とする。

- 15 参加申込
- (1) 各学校は、参加申込書一式、参加料、参加記念章代、プログラム代・ランニング表代を地区中体連専門委員長へ一括申し込む。
 - (2) 各地区中体連専門委員長は、各校からの申込書類ならびに現金を確認の上、県競技部事務局へ参加申込データと一緒に提出する。
 - (3) 県競技部事務局は、抽選会時に申込書類ならびに現金を集約する。

- 16 宿泊
- (1) 大会に参加し宿泊を要する出場校は、適切な危機管理対応 (感染症・自然災害等) を確保するため、必ず大会事務局指定の業者に宿泊申込書をFAX送信して、申し込むこと。(指定外の宿泊施設の利用は認めない。) また、宿

泊申込書の原本は参加申込書と一緒に当該競技の地区専門部委員長へ提出すること。

- (2) 大会役員の配宿は、大会事務局で行い、競技役員の配宿は、各競技事務局で行う。
- (3) 宿泊料金は、令和元年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金による。

17 その他

- (1) 開始式・閉会式には、選手全員が参加することを原則とする。
- (2) プログラムとランキング表は有料とし、プログラムは1冊1,000円、ランキング表は1冊600円で販売する。
- (3) 参加記念章は、1個350円で販売する。
- (4) 東北大会への出場については、本大会で各種目4位までの入賞者及びリレーチームが出場権を得る。
- (5) 全国大会への出場については、本大会または通信陸上競技大会で標準記録を突破した者が出場できる。ただし、リレーについては、本大会の共通リレー優勝チームが全国大会への出場権を得る。
- (6) 全国大会の種目及び標準記録は、次の通りである。

男	子	女	子
100m	11"20	100m	12"53
200m	22"75	200m	25"80
400m	51"60	800m	2'16"50
800m	2'00"50	1500m	4'38"00
1500m	4'08"50	100mH	14"80
3000m	8'57"00	4×100mR	
110mH	15"00	走高跳	1m60
4×100mR		走幅跳	5m45
走高跳	1m85	砲丸投	12m50
棒高跳	4m00	四種競技	2630点
走幅跳	6m55		
砲丸投	13m00		
四種競技	2500点		

- (7) 本大会は、第74回国民体育大会予選会を兼ねる。
- (8) 全国ジュニアオリンピック大会予選会及び同大会県選抜チームの選考会を兼ねる。
- (9) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。

18 連絡先 県・開催地区専門部委員長 二瓶 励(福島三中：024-534-3171)

競技注意事項

1 選手招集について

- (1) 招集開始時刻と完了時刻は次の通りとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	30分前	15分前
フィールド競技	60分前	45分前
棒高跳	75分前	60分前

- (2) 招集完了時刻に遅れた選手は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
 (3) 四種競技については、4種目とも(1)の通りとする。
 (4) やむを得ず棄権するときは、招集開始時刻までに所属する学校の監督がその旨を所定の用紙に記入し競技者係に提出する。(所定の用紙は招集所に用意する。)

2 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入退場は、すべて係員の誘導に従うこと。
 (2) 選手・役員以外は競技場への立ち入りを禁止とする。
 (3) トラック種目でフィニッシュした選手は、第1コーナーの第1ゲートから退場する。
 (4) リレー種目に出場する選手は、競技終了後最寄りのゲートより退場する。

3 ナンバーカードは数字が明瞭なものを、胸と背に付けること。ただし、走幅跳・走高跳・棒高跳は胸と背のどちらか1枚でよい。

4 競技について

- (1) セパレートレーン競技で決勝線に到達した者は、レーンに沿って走り抜けること。
 (2) プログラム各種目出場者氏名左端の数字は、レーン順及び試技順を示す。四種競技のトラック競技は組毎、フィールド競技については四種競技プログラム下段に記載されたナンバー順に試技を行う。
 (3) フィールド競技では、次の時間をこえて試技をしてはならない。

残っている 競技者数	単独種目			混成競技		
	走高跳	棒高跳	その他	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分		2分	3分	
連続試技	2分	3分	2分	2分	3分	2分

- (4) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
男子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m82	1m85	以後3cmずつ上げる
女子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60	

- (5) 棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	以後10cmずつ上げる

- (6) 四種競技の走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
男子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	1m56	1m59	1m62	1m65	1m68	以後3cmずつ上げる
女子	1m15	1m20	1m25	1m30	1m33	1m36	1m39	1m41	1m44	1m47	

- (7) リレーオーダー用紙は、予選・決勝とも招集時刻1時間前までに競技者係(招集所)に1部提出する。用紙は競技者係(招集所)から受け取る。
 (8) 東北中学校陸上競技大会は1種目4名出場のため、走高跳・棒高跳において同順位・同記録者があり、4名以上の場合は同順位・同記録者で出場決定の試技を行う。
 (9) スタートはイングリッシュ・コマンドで行い、不正スタートは一回目で失格とする。

5 その他

- (1) この競技注意事項以外の項目については、大会要項並びに監督会要項に記載する。
 (2) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。